



# PRESS RELEASE

2009年1月5日

## 森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17  
虎ノ門2丁目タワー  
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259  
URL <http://www.mori-trust.co.jp>

### 2009年 年頭所感 ～これからの経営戦略～

米国発の金融危機が世界大不況へと発展し、その打開策として有効な政策の発動が期待されている。特に米国の動向は重要な鍵を握り、諸政策も続々と打ち出されているが、実体経済悪化の進行と政策実行のタイミング次第では、さらなる悪化に歯止めがかからない懸念もある。2009年の経済環境は予断を許さない状況といえる。

森トラストグループは、グループの第3ステージとして、2006年に不動産・ホテル&リゾート・投資の3事業を主軸とする組織再編を実施した。多業種多企業を包含した複合企業体経営を推進し、資産と事業の両面での強いポートフォリオ構築を目指し、新陳代謝を行ってきた。これは、経済環境が変化する事を視野に入れ、リスク耐性の強化と新たなビジネスチャンスを獲得する事を目的とした施策であった。現在の経済情勢は、当初予測した範囲の中でも最悪のシナリオに近い情勢と言え、現時点の環境を前提とした経営を行う必要がある。

当グループでは、3月に国際的ラグジュアリーホテル「シャングリ・ラ ホテル 東京」が入居する「丸の内トラストシティ」のグランドオープンを控えているほか、仙台中心地で東北初のラグジュアリーホテル「ウェスティンホテル仙台」をはじめ高機能オフィスと高級住宅からなる「仙台トラストシティ」の開発を進めている。東京・京橋地区や「虎ノ門パストラル」跡地再開発計画も抱えており、それらを順次稼働させていくことで、賃貸事業の強い基盤を維持していく。それと同時に、コスト管理などを含め、より一層の生産性向上をはかり、先手を打った資産整理を行いながら、厳しい経済環境にも耐えうる組織体を構築していく。

その一方で、次に訪れる新たな時代のチャンスの萌芽は見逃さない姿勢で臨む。現在は、従来の輸出主導型経済から円高・低金利を前提とした内需拡大型経済への大きな転換点と捉えている。海外への投資も含め、こうした事業環境を踏まえたビジネスをグループ事業として取り込む事で、次代を見据えた事業ポートフォリオの構築も行っていく。

「信用」の重要性が高まっている時代情勢の中で、これまでと同様に信頼される企業体を維持・推進しながら、ビジネスパートナーと共に新時代の共栄のビジネスモデルを創造することを目指していきたい。

[森トラストグループ 代表 森 章]